

先日、溪流沿いの林道を歩いていると、**謎の生きもの**に出会いました。

最初は5mほど先の木の葉の上にとまっており、体長は2～3cmほどで黄色っぽい体色から、「アシナガバチ」だろうと思っていたのですが…

どうも様子がおかしいのです…
しきりに腰をくねらせているのです…
アシナガバチはこのような動きはしないはずです…

もう少し近づいてみると…

そこにいたのは見たこともない“**謎**”の生きものだったのです…(@_@)

上半身は「カマキリ」なのですが、下半身は「クサカゲロウ」、というよりもその極太体型から「ヘビトンボ」みたいな奴なのです…

しかも…

よく飛び回るので…
やはり、アシナガバチか何かに擬態しているつもりなのかも知れません…

図鑑で調べてみると、「**ヒメカマキリモドキ**」という名前でした。

カマキリとは全く別の種で、「アミカゲロウ」の仲間だそうです。

全く不思議な容姿の生きものですね…

◆写真①～③： **ヒメカマキリモドキ**

- ◇岩湧山麓の溪流沿いの林道で見つけました。
- ◇「カマキリ」は鎌を胸の前に構えるのに対して、「カマキリモドキ」は胸の横、腕より後ろに構えて獲物を捕らえるようです。

参考までに、「モドキ」ではない「**ヒメカマキリ**」も紹介しておきます。

◆写真④～⑦： **ヒメカマキリ**

- ◇大和葛城山系の溪流沿いの「峠」付近で見つけました。
- ◇体長は3cm前後です。
- ◇動きが速い上によく飛びますので、撮影は困難です。
- ◇⑤～⑦の3枚は、まだ羽が未完成の「幼虫」です。
- ◇複眼に模様があるのですね…













